

## 統合開発管理プラットフォーム「ProjDepot<sup>1</sup>」(2)

方 学芬、土屋 正人

Fang Xuefen, Masato Tsuchiya

Vol.76+で ProjDepot の特徴と期待できる効果を紹介しました。今回は利用イメージを紹介します。利用するのは Web アプリケーションの開発プロジェクト(Web01)のプロジェクト管理者を担当する鈴木さんです。鈴木さんには以下のような思いがあります。

- 開発環境構築時間を最小限にしたい
- 関係者以外はアクセスを制限したい
- メンバに課題や不具合情報を確実に伝えたい
- 手戻り作業を最小限にしたい
- 複数のプロジェクト状況を毎日確認したい

ProjDepot がどのように支援できるか、見て行きます。

### ◆ 簡単な操作で環境構築



図 1 プロジェクト用開発環境の構築

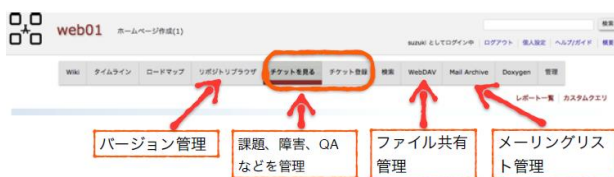


図 2 構築された開発環境

鈴木さんが Web ブラウザで ProjDepot にログインし、プロジェクトの情報を入力するだけで、プロジェクトの専用管理環境が構築されます(図 1、2)。

テンプレートを使ったプルダウンメニュー選択により、入力の手間削減と統一名称遵守を達成できます(図 3)。



図 3 テンプレートによる入力の手間削減

条件検索による情報の絞り込みができます(図 4)。

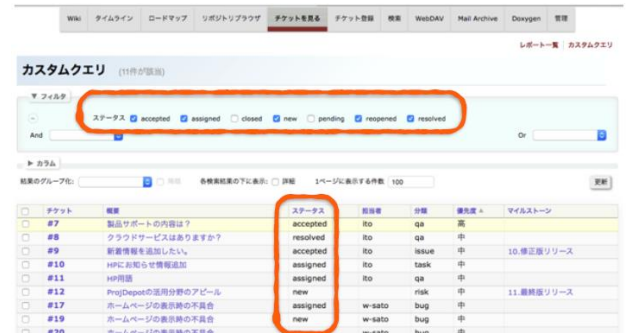


図 4 条件検索による絞り込み

アクセス権限の設定も容易です(図 5)。

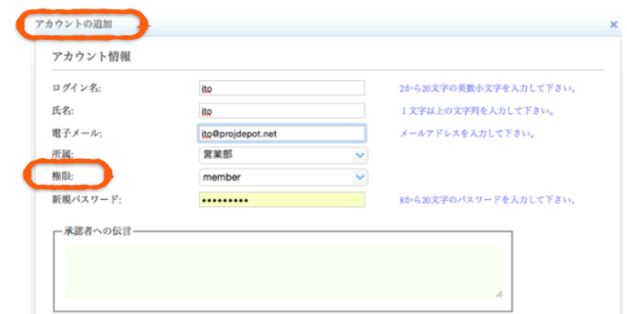


図 5 アクセス権の設定

<sup>1</sup> 「ProjDepot」は商標登録出願中です。

## ◆ 情報共有でムダを削減

WebDAV でファイル共有を、Wiki でノウハウ共有を、メーリングリストおよびメールアーカイブで情報の伝達と連携を、促進します。途中からプロジェクトに参加するメンバーも速やかに作業に着手できるため、リーダの負担を軽減します。また、メールからチケットを作成できるため、追跡可能性が得られ、情報を確実に伝えると同時に手戻り作業を最小限にすることができます(図 6,7,8)。



図 6 WebDAV によるファイル共有



図 7 メーリングリストのアーカイブ



図 8 Wiki によるノウハウ共有

## ◆ プロジェクト状況の把握

鈴木さんは Web01 以外のプロジェクトも管理しています。担当プロジェクトの一覧を確認し、プロジェクト別に、課題、障害、QA、残タスクなどを把握します(図 9,10)。

プロジェクト名	プロジェクト概要	所属
demo01	デモ用プロジェクト	開発 1 部
demo03	demo project	営業部
web01	ホームページ作成(1)	開発 1 部

図 9 管理しているプロジェクトの確認

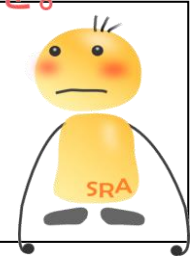


図 10 プロジェクト状況の確認

## ◆ 開発者の利用シーンへ

今回はプロジェクト管理者である鈴木さんの ProjDepot の利用シーンを紹介しました。次回は開発者の利用シーンを紹介します。

夢を。



GSletterNeo Vol. 77+  
2014 年 12 月 20 日発行  
発行者 ●株式会社 SRA 先端技術研究所  
編集者 ●土屋正人

バックナンバーを公開しています ●<http://www.sra.co.jp/gletter>  
ご感想・お問い合わせはこちらへお願いします ●[gsneo@sra.co.jp](mailto:gsneo@sra.co.jp)

**株式会社SRA**

〒171-8513 東京都豊島区南池袋 2-3 2-8

夢を。Yawaraka Innovation  
やわらかいのべしょん